

奈良県のシンボルは何かな



県の章
奈良県の「ナ」を图案化したもので、外のは大和の自然、内のは協和の精神をあらわしています。横一文字の軸は、力強い統一とゆみなぎ進展をあらわしています。(昭和43年3月制定)



県の木
スギ
毎日新聞社の提唱により、アセビ、ウメ、サクラ、スギ、モミジの5候補を選考委員会で決め、県民のハガキ投票により、最高票のスギを県の木に指定しました。(昭和41年9月指定)



県の花
奈良八重桜
県の花選定委員会で、奈良八重桜、山桜、牡丹、梅、馬酔木、藤の6候補のなかから選ばれました。(昭和43年3月告示)



県の鳥
コマドリ
コマドリ、アオゲラ、ミノサザイ、オオルリ、カワセミの5候補を選考委員会で決め、県民のハガキ投票により、最高票のコマドリを県の鳥に指定しました。(昭和41年6月制定)



県のさかな
きんぎょ・あゆ・あまご
県のさかな選定委員会で実施した県民アンケートの結果により、上位3種のきんぎょ・あゆ・あまごを県のさかなに指定しました。(平成24年6月制定) 【写真(右)きんぎょ、(上)あゆ、(下)あまご】

奈良県は いつできたのかな

年	こと
慶応3(1867)年	幕府が朝廷に政権を返す
明治元(1868)年	天領だった奈良に大和鎮台という役所ができ、そののち奈良県と名をかえる
2(1869)年	大名がおさめていた土地と人民を朝廷に帰す(版籍奉還)
4(1871)年	藩を廃止して、府と県がおかれ(廃藩置県)、大和国内に15県ができ、そののち、大和全域を管轄する奈良県がおかれる
9(1876)年	奈良県が堺県に合併される
14(1881)年	堺県が大阪府に合併される
20(1887)年	大阪府から独立して、奈良県が再設置される。第1回県議会議員選挙が行われる
21(1888)年	第1回奈良県議会が東大寺大仏殿回廊で開かれる
昭和22(1947)年	はじめて県民が知事を選ぶ選挙が行われる
62(1987)年	大阪府から独立して満100年になる

県名の由来・・・平安時代から鎌倉時代にかけて、東大寺や興福寺の門前町として「奈良町」が生まれ、江戸時代には幕府の奉行所が置かれて政治の中心となりました。明治時代になって県名をつけるとき、この「奈良」をとりました。

どんな特産品があるのかな

筆

墨

茶釜

大和茶

吉野葛

和紙

わりばし

その他に、工芸品では、一刀彫、赤膚焼、奈良団扇などがあります。食品では、そうめんや奈良漬、柿の葉すしなどがあります。工業製品では、ソックス、サンダル、革靴、グローブ・ミット、貝ボタン、毛皮などがあります。

わたしたちの奈良県 令和2年度

奈良県の姿はどうなっているのかな

奈良県は日本のほぼ中央部紀伊半島の真ん中に位置し、周囲を山岳に囲まれた内陸県です。面積は3,690.94km²で、全国的には40番目にあたり、国土の約1%です。県のほぼ中央部を流れる吉野川を境として、北部の低地帯と南部の山岳地帯に分かれ、そのうちの南部山岳地帯は総面積の60%強をしめます。北部の奈良盆地は内陸性気候で、夏はむし暑く、冬は冷え込みのきびしい日が続きます。一方、南部の吉野山地系の東部、大台ヶ原をふくむ一帯は、全国でも有数の多雨地帯となっています。

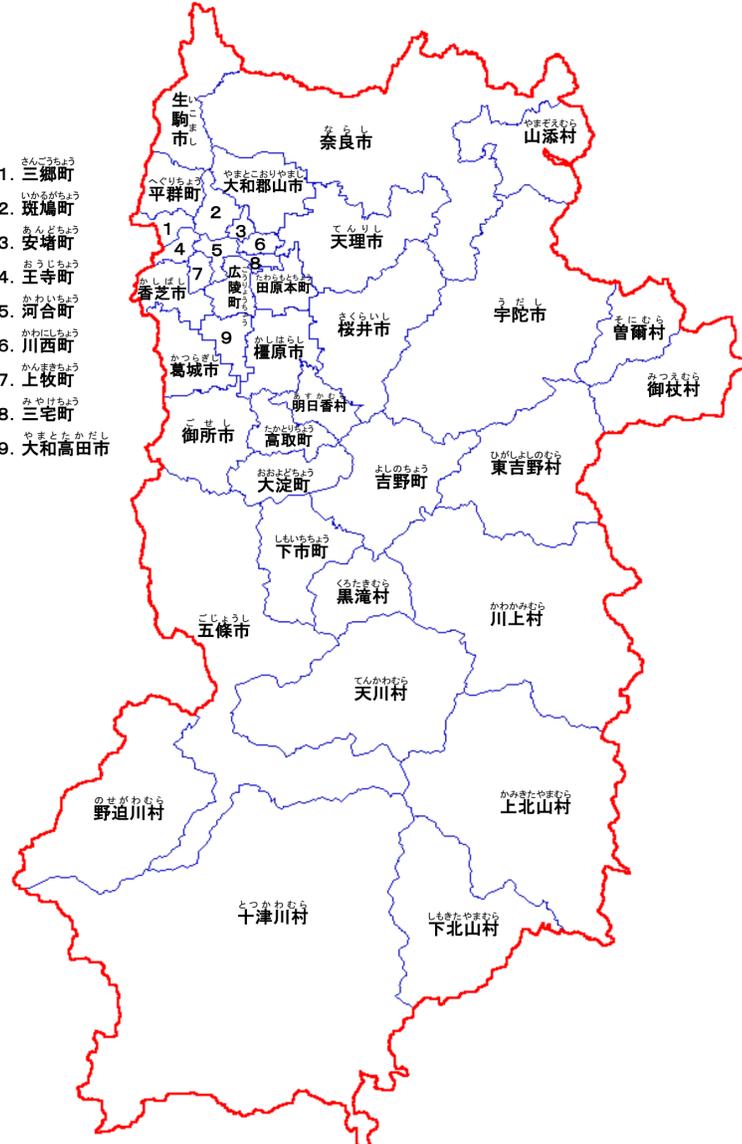


おもな山と水系

若草山 342m(奈良市)
八経ヶ岳(八剣山) 1,915m(吉野郡天川村)
県内で一番高い山
額井岳 812m(宇陀市)
大和富士と呼ばれています。
大和川水系—570.0km 新宮川水系—406.7km
紀の川水系—328.8km 淀川水系 —256.0km
(長さは奈良県管理分)

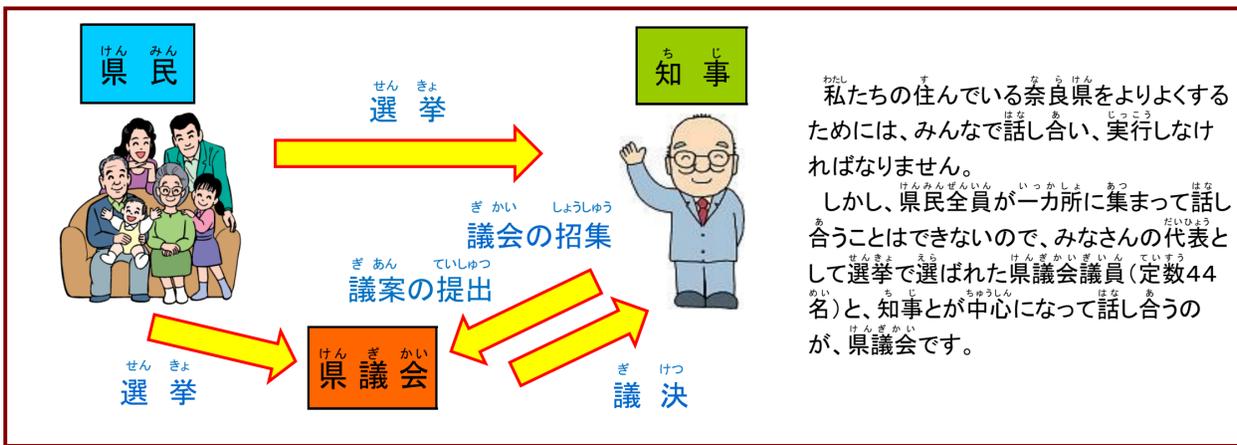
数字で見る奈良県

最高気温 39.3℃(奈良)・38.4℃(上北山)
最低気温 -7.8℃(奈良)・-9.3℃(上北山)
1日の最大降水量 196.5mm(奈良)・661.0mm(上北山)
(奈良地方気象台(奈良観測所・上北山観測所)調べ)
推計人口 1,329,078人(令和2年2月1日現在)
世帯数 597,324世帯(令和2年2月1日現在)
出生 8,625人 1日に24人(平成30年10月～令和元年9月)
死亡 14,873人 1日に41人(平成30年10月～令和元年9月)
結婚 5,234組 1日に14組(平成30年)
転入 28,386人 1日に78人(平成30年10月～令和元年9月)
転出 30,878人 1日に85人(平成30年10月～令和元年9月)
県内の観光客 44,210,000人(平成30年)
海外に行った人 206,034人(平成30年)
国宝・重要文化財指定数 1,327件(令和2年3月1日現在)



生駒山のケーブルカーや吉野山のロープウェイは日本初。東大寺大仏殿は世界最大級の木造建築です。また、奈良県内には3つの世界遺産があります。(法隆寺地域の仏教建造物、古都奈良の文化財、紀伊山地の霊場と参詣道)

どのようなしくみで仕事をしているのかな



どんな仕事を積極的に進めているのかな

令和2年度は以下の9点を主な取組として、さまざまな仕事を進めます。

栄える「都」をつくる

- 地域経済活性化
- 働き方改革の推進と就業支援

賑わう「都」をつくる

- 滞在型観光の定着
- 魅力ある観光地づくり
- 観光奈良の魅力向上・発信

愉しむ「都」をつくる

- 「安全安心な地域」づくり
- 「きれいな奈良県」づくり
- くらしやすいまちづくり
- 地域で子どもを健やかに育てる
- 女性活躍の推進
- エネルギー政策

便利な「都」をつくる

- 道路整備
- 鉄道整備
- バス輸送環境整備

健やかな「都」をつくる

- 健康寿命日本一を目指す健康づくり
- 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実
- 福祉の充実
- だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

智恵の「都」をつくる

- 教育の振興
- 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興
- 海外との交流展開

豊かな「都」をつくる

- 農業・農地・農村・食と農の振興
- 畜産・水産業振興
- 森林環境管理・林業振興

誇らしい「都」をつくる

- 南部・東部の振興

爽やかな「都」をつくる

- 奈良モデルの実行
- 行政マネジメント
- 財政マネジメント



奈良県行政組織図 (R2.4.1)

